

令和4年度

# 「食品ロス削減に関するアンケート」

福島県消費者団体連絡協議会

Fukushima Federation of consumers' organizations

(令和5年2月作成)



# 令和4年度「食品ロス削減に関するアンケート」

## 福島県消費者団体連絡協議会

「食品ロス」とは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。これはとてももったいないことですが、農林水産省が発表した2020年の食品ロス量（推計値）は522万トンにもなります。その半分は家庭から発生していると言われ、消費者の行動や意識の変化が求められています。そのため、消費者行動や意識の現状を知ること、今後の消費者行動のヒントになると考えアンケート調査を実施しました。

この調査は2年目です、昨年と同じ質問が9つ（質問1から質問9）、残りの質問10から質問12は令和元年と2年にも同じ質問をしています。

県内の消費者に対し、用紙を配布し記入する方法とインターネットによる調査を実施しました。

回答率（%）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しています。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合があります。

いくつかの質問及び選択肢は、消費者庁の「計ってみよう！家庭での食品ロス」を参考にしました。

【調査 対象】 福島県民および福島県消費者団体連絡協議会の会員

【調査 期間】 令和4年6月はWeb調査、7月から8月は会員を通しての調査、10月は福島県主催のイベント「REIFふくしま2022×ふくしまゼロカーボンDAY！2022」会場での調査。

【有効回答数】 1,085人（配布数1,200枚、有効回答率 90.4%）（web回答93人含む）

年代別・男女別人数

質問 1	「食品ロスを知っていますか？」	1
質問 2	「日本の食品ロスの半分は家庭から発生しています、知っていますか？」	2
質問 3	「あなたは、どんな食品を捨てがちですか？」	3
質問 4	「捨ててしまう理由は？」	4
質問 5	「お買い物で工夫していることはありますか？」	5
質問 6	「お料理で工夫していることはありますか？」	6
質問 7	「食材の保存方法で工夫していることはありますか？」	7
質問 8	「食品ロスを少なくするため外食の店にどのような工夫を望みますか？」	8
質問 9	「食品ロス削減のために大切だと思うこと」	9
質問 10	「福島県消費者団体連絡協議会では『エシカル消費で社会を変えよう！』をテーマに活動しています。『エシカル消費』について伺います。」	10
質問 11	「エシカル消費」に関する消費行動として次のようなことがありますか、あなたにできることはありますか？」	11
質問 12	「地球温暖化、プラスチックごみ汚染の問題が緊急の課題になっています。私たちの環境を守るため、日常生活で大切なことは何ですか？」	12
まとめ	アンケート調査を実施して伝えたいこと！	13
質問ごとの年代別集計表		14
調査用アンケート用紙		15

## 回答者の年代別・男女別人数

配布数 1,200 枚

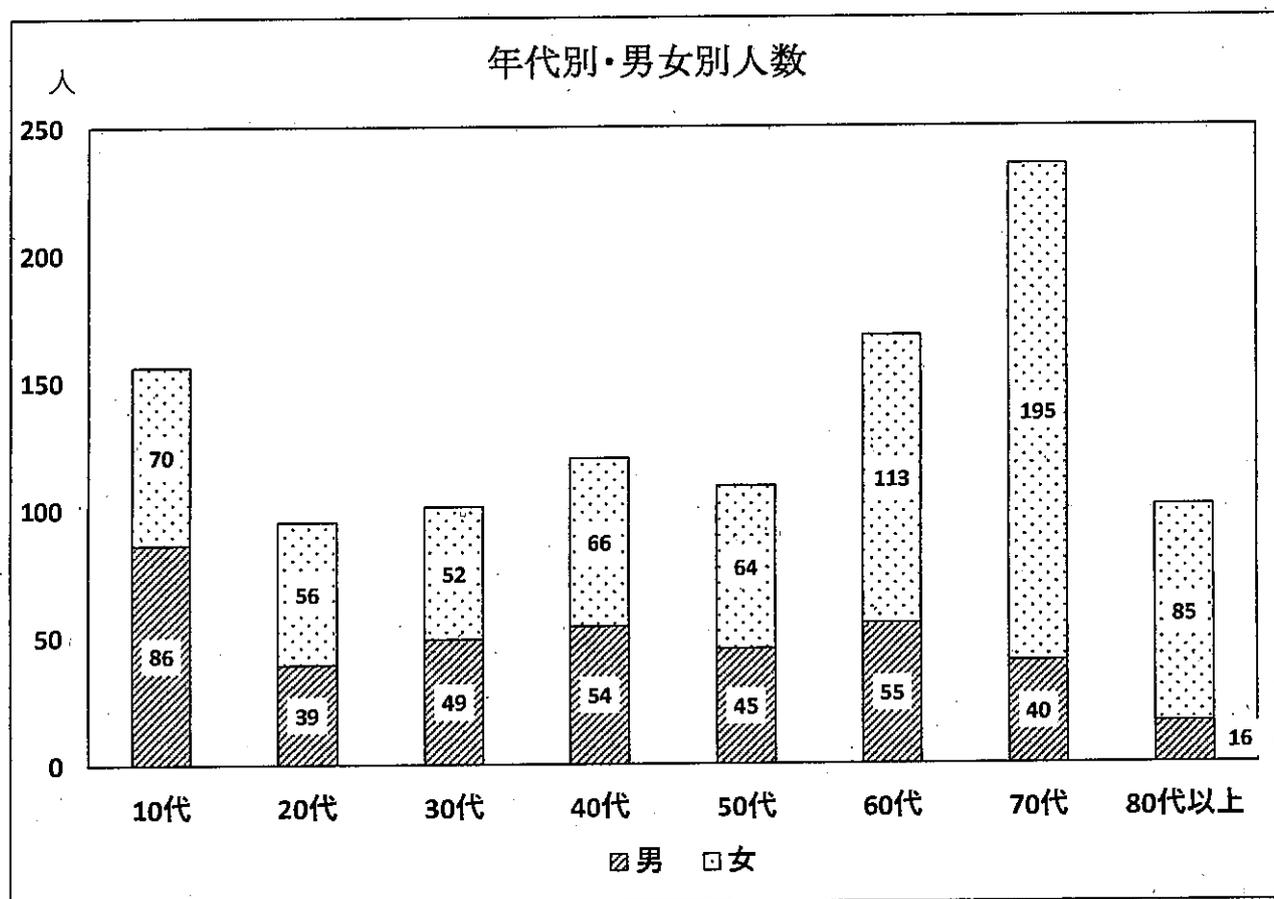
有効回答数 1,085 枚

有効回答率 90.4 %

合計 1,085人

男性 384人 ( 35.4 %)

女性 701人 ( 64.6 %)

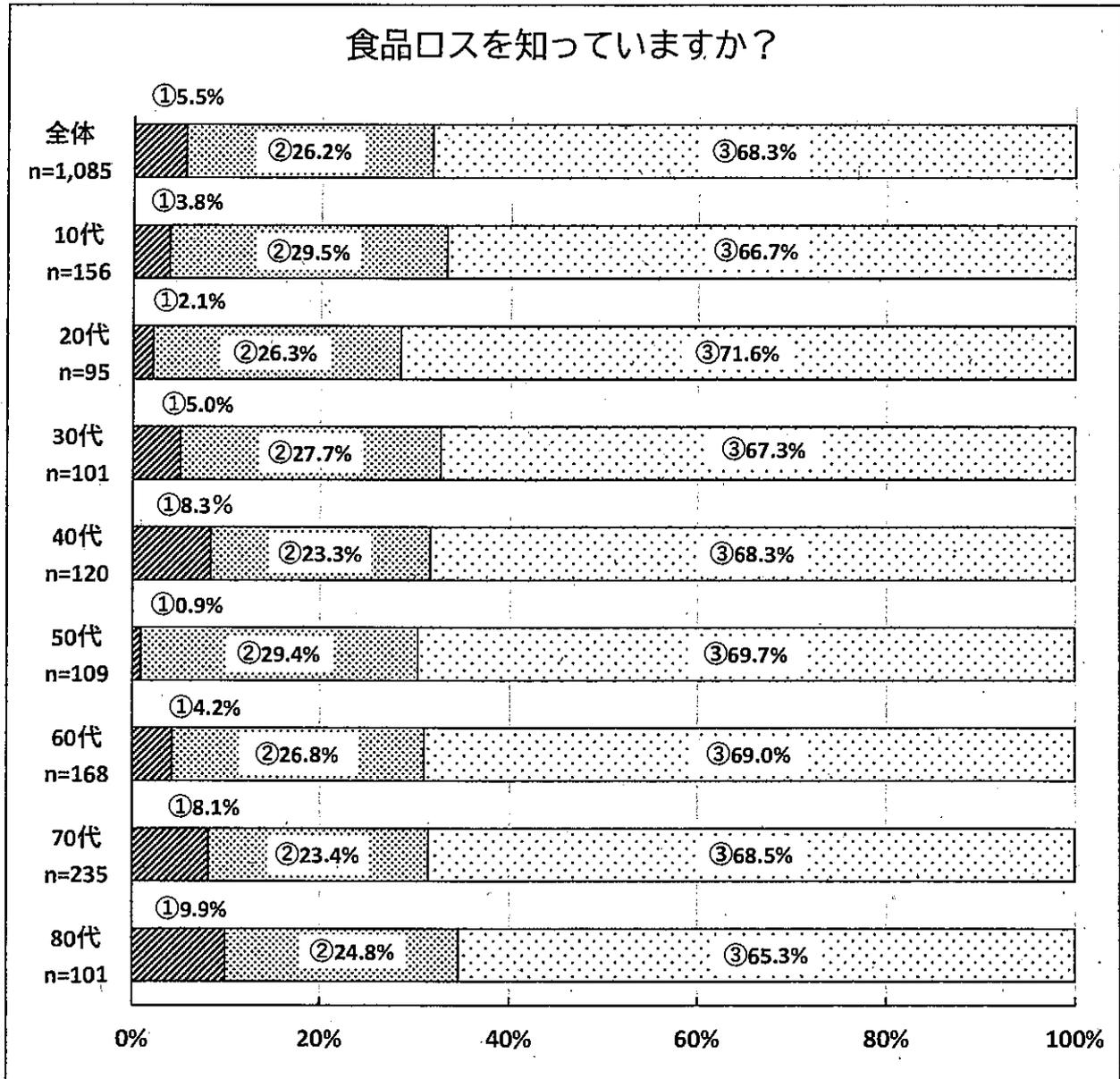


- ・ 回答者 1,085人のうち、男性は384人 (35.4%)、女性は701人 (64.6%) です。
- ・ 今年の特徴は、70代 (21.7%) が多く、次に60代 (15.5%)、10代 (14.4%) です。
- ・ 10代156人中、大学生は100人 (64.1%)、20代95人中、大学生は61人 (64.2%) です。
- ・ 大学ではコロナ禍の影響でオンライン授業もあるため、従来通り紙によるアンケートとGoogleフォームによりweb上で93人に回答していただきました。

## 質問1 食品ロスを知っていますか？

以下からひとつを選択

- ① 知らない・聞いたことがない
- ② 聞いたことはある、内容はよく知らない
- ③ 聞いたことがある、内容も知っている
- ④ その他



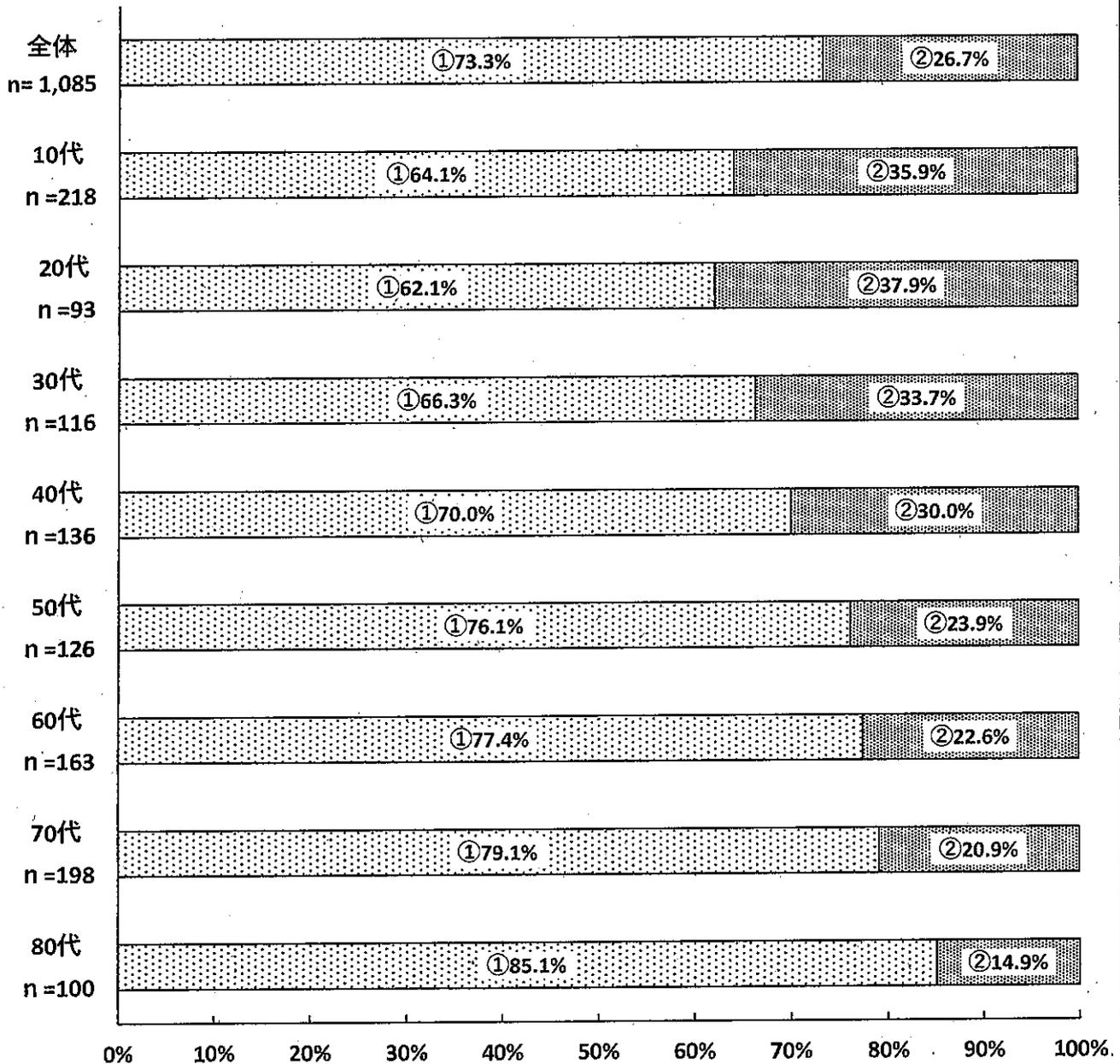
- ・各年代とも、一番多かったのは、「③食品ロスを聞いたことがある、内容も知っている」で68.3%です。3人に2人が内容まで知っていることが分かります。
- ・「②食品ロスを聞いたことはある、内容は知らない」は26.2%、4人に1人が内容までは知らないことが分かりました。
- ・「①知らない・聞いたことがない」は、80代以上が一番多く9.9%、一番少なかったのは、50代の0.9%でした。
- ・回答者全員が①②③のいずれかを選択し④を選んだ方はおりませんでした。

質問2 日本の食品ロスの半分は家庭から発生しています、知っていますか？

どちらかを選択

- ① 知っている
- ② 知らない

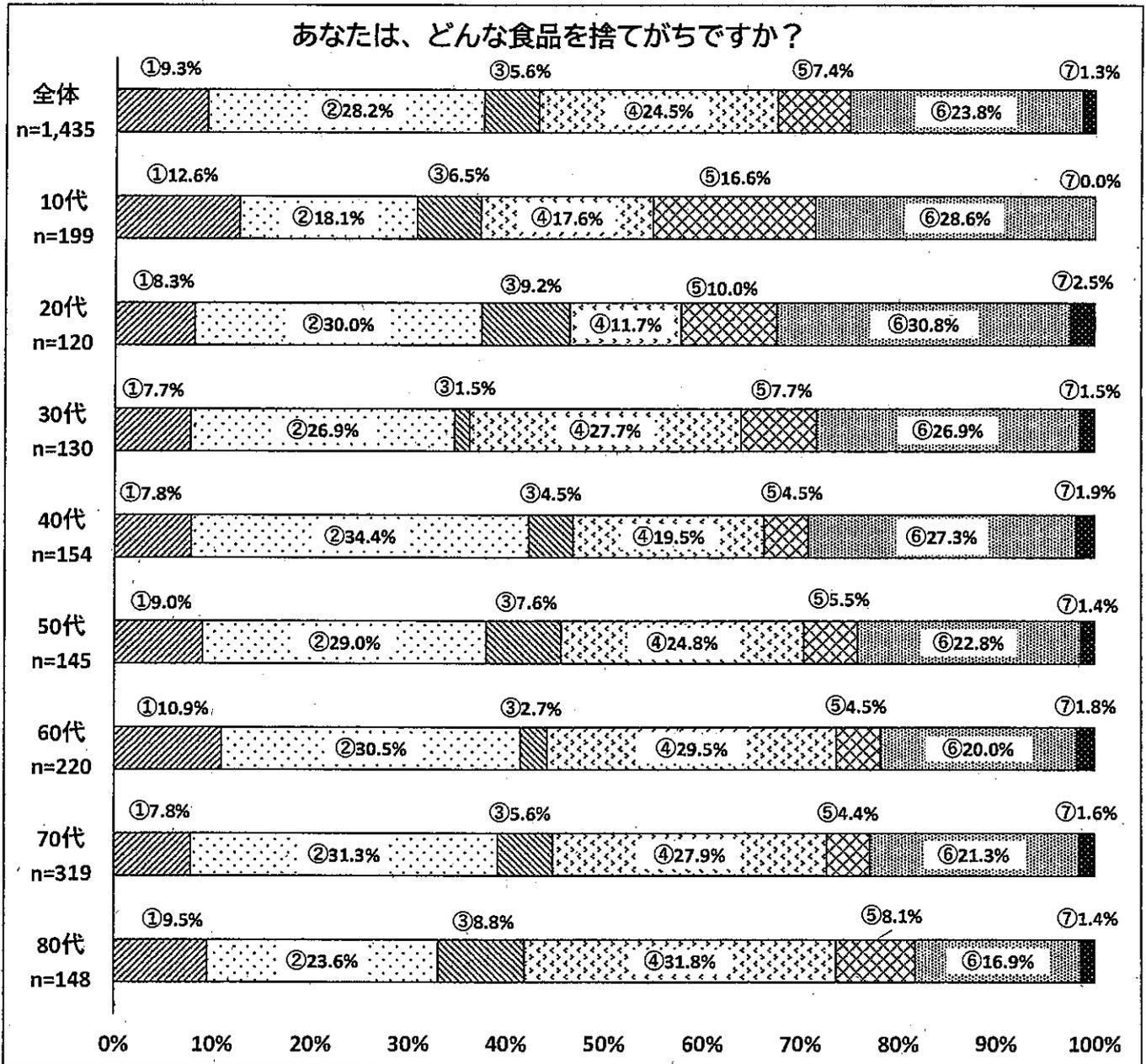
日本の食品ロスの半分は家庭から発生しています、知っていますか？



- ・食品ロスの半分が家庭から発生していることを、「①知っている」は1,085人のうち、73.3% (795人) で3人に2人は知っています。
- ・「知っている」と回答した割合が多かった年代は、80代の85.1%、70代の79.1%、60代の77.4%です。80代が最も多く、20代 (62.1%) が最も少なくなっています。
- ・70代を除き、どの年代も「知っている」と回答した方が、昨年より多くなりました。特に30代は昨年の47.4%から66.3%になり、18.9ポイントの増となりました。

### 質問3 「あなたは、どんな食品を捨てがちですか？」

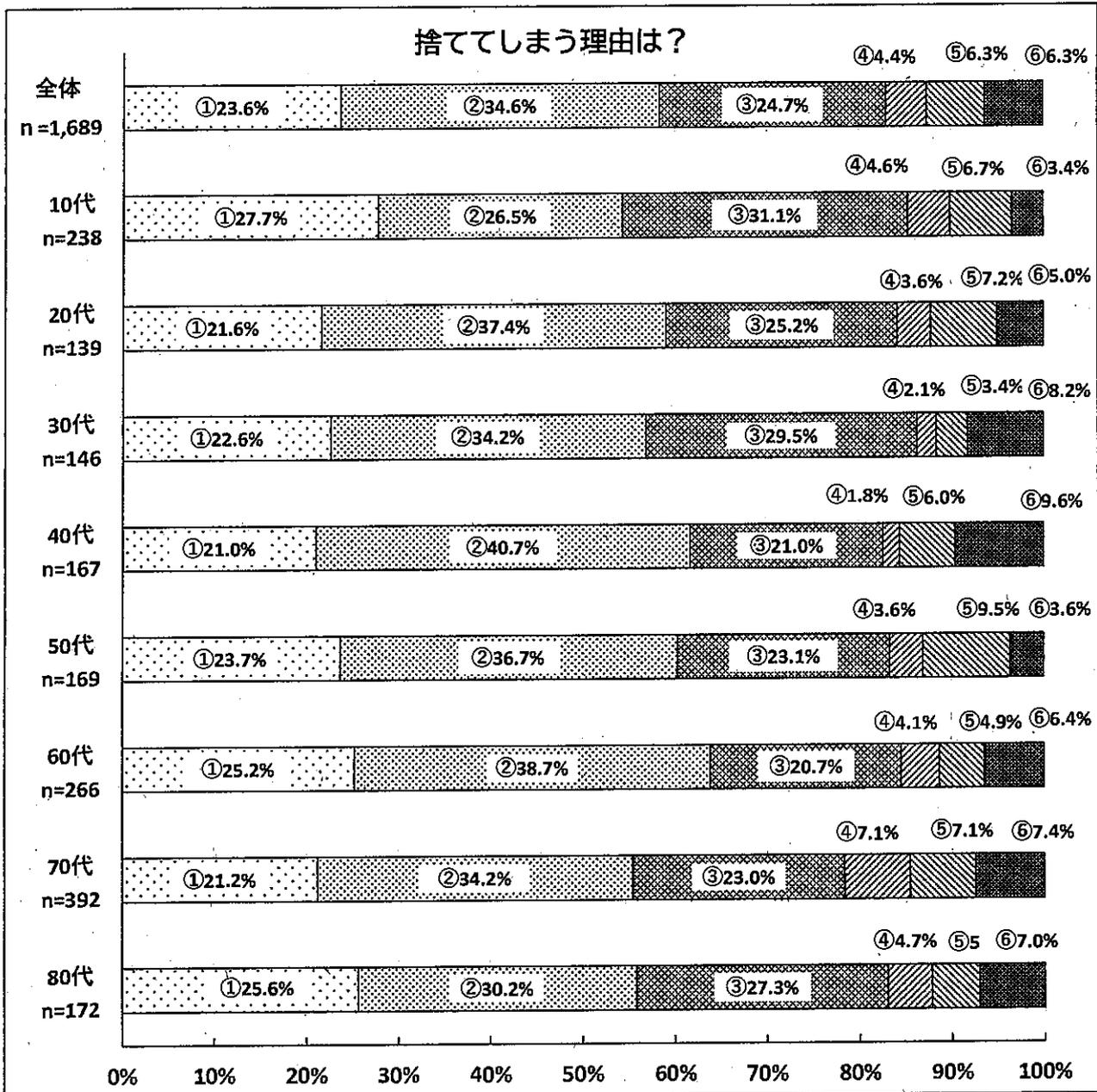
- ① 主食(ごはん、パン、麺類) ※選択は2つまで  
 ② 野菜や果物  
 ③ 肉や魚  
 ④ おかず(野菜・肉・魚以外の加工品・中食)  
 ⑤ お菓子・飲み物  
 ⑥ 捨てることはほぼない  
 ⑦ その他



- ・ 捨てがちな食品で多かった順に、「②野菜や果物」28.2% (404人)、次に「④おかず」24.5% (352人)、「①主食」9.3% (133人)、「⑤お菓子・飲み物」7.4% (106人)です。
- ・ 「⑥捨てることはほぼない」は、全体の23.8% (341人)、4人に一人と高い割合です。特に、20代30.8% (37人)は、全年代の中でも一番多いことがわかります。

## 質問4 「捨ててしまう理由は？」

- ※選択は2つまで
- ① 食べきれなかった
  - ② 傷ませてしまった
  - ③ 賞味・消費期限が切れていた
  - ④ 嫌いなものだった
  - ⑤ 美味しくなかった
  - ⑥ その他

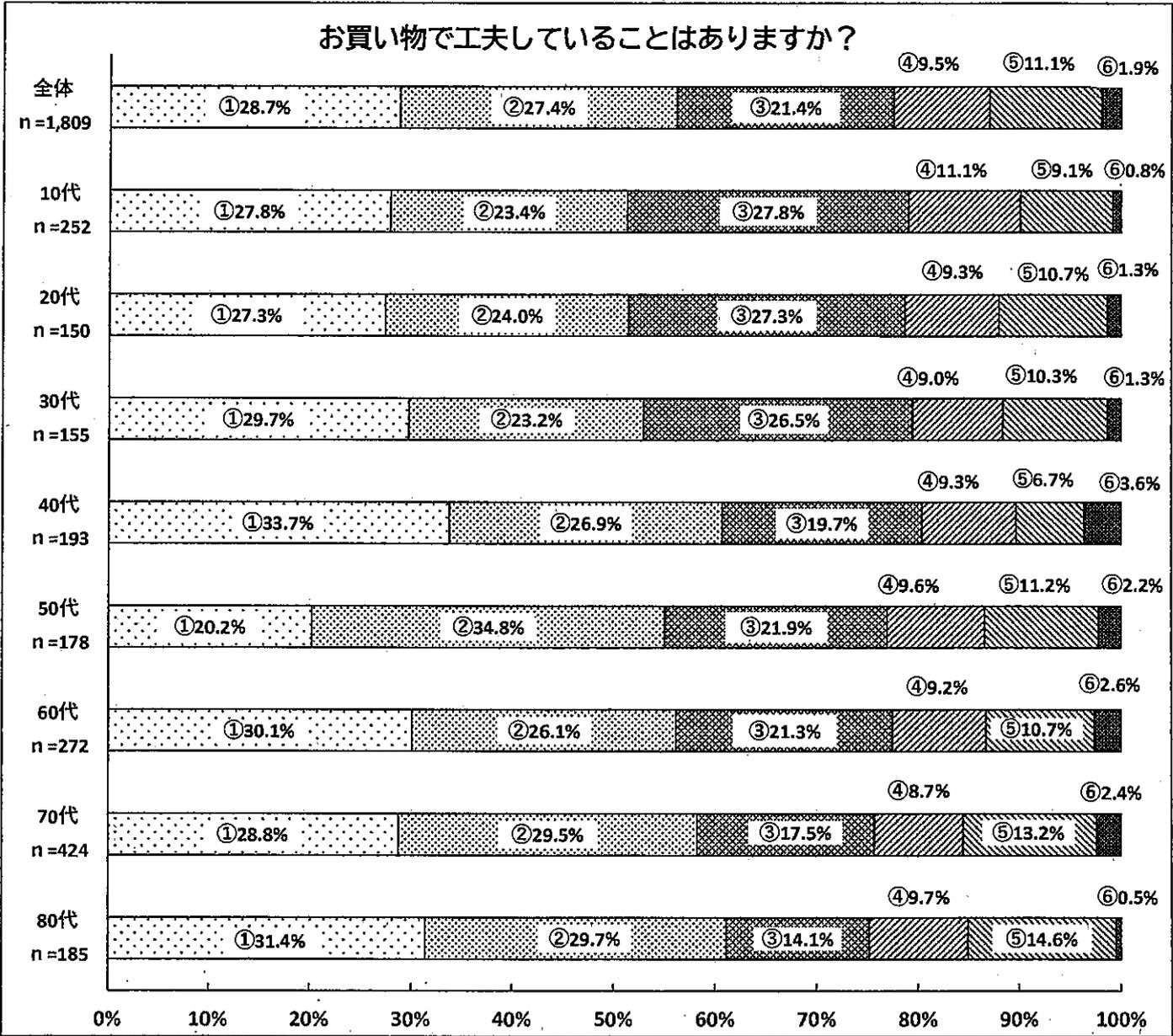


・捨ててしまう理由は、10代を除いて、多い順に「②傷ませてしまった」34.6% (584人)、「③賞味・消費期限が切れていた」24.7% (418人)、「①食べきれなかった」23.6% (398人)です。

・10代のみ、一番多かったのが、「③賞味・消費期限が切れていた」31.1% (74人)です。

## 質問5 「お買い物で工夫していることはありますか？」

- ① 家にある食材をチェックしてから買い物に行く ※選択は2つまで  
 ② 家にある食材を優先的に使うことを考えている  
 ③ 使いきれ的分だけ買うようにしている  
 ④ スーパーなどの棚の前の方から取って買うようにしている  
 ⑤ 献立をたて、足りない食材を買うようにしている  
 ⑥ その他



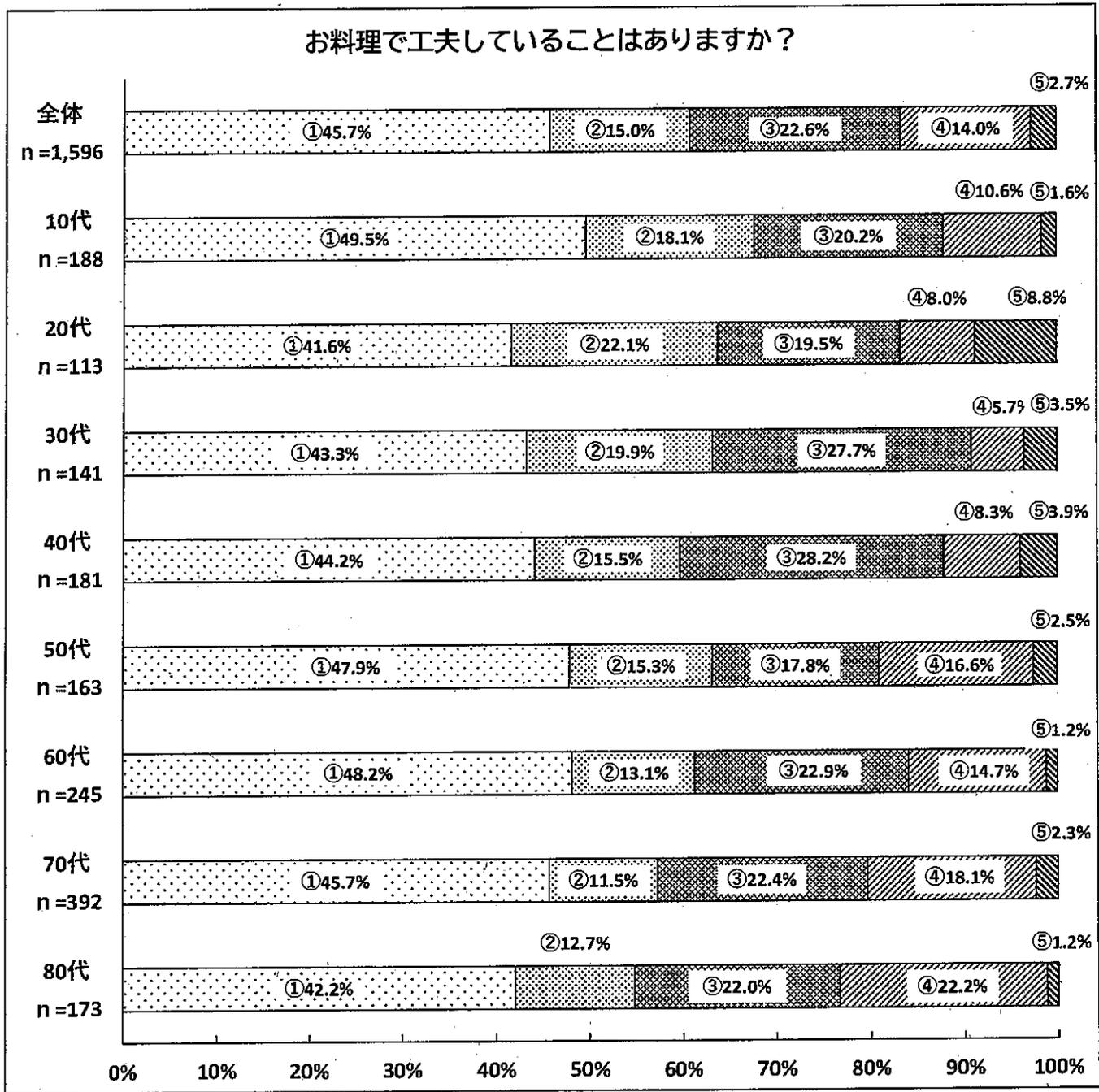
・お買い物で工夫していることは、多い順に「①家にある食材をチェックしてから買い物に行く」28.7% (520人)、「②家にある食材を優先的に使うことを考えている」27.4% (496人)、「③使いきれ的分だけ買うようにしている」21.4% (387人)です。

・年代により、工夫する順序には違いがあります。

・④はどの年代も昨年より増加し、全体では5.0%から9.5%と4.5ポイントの増となりました。

質問6 「お料理で工夫していることはありますか？」

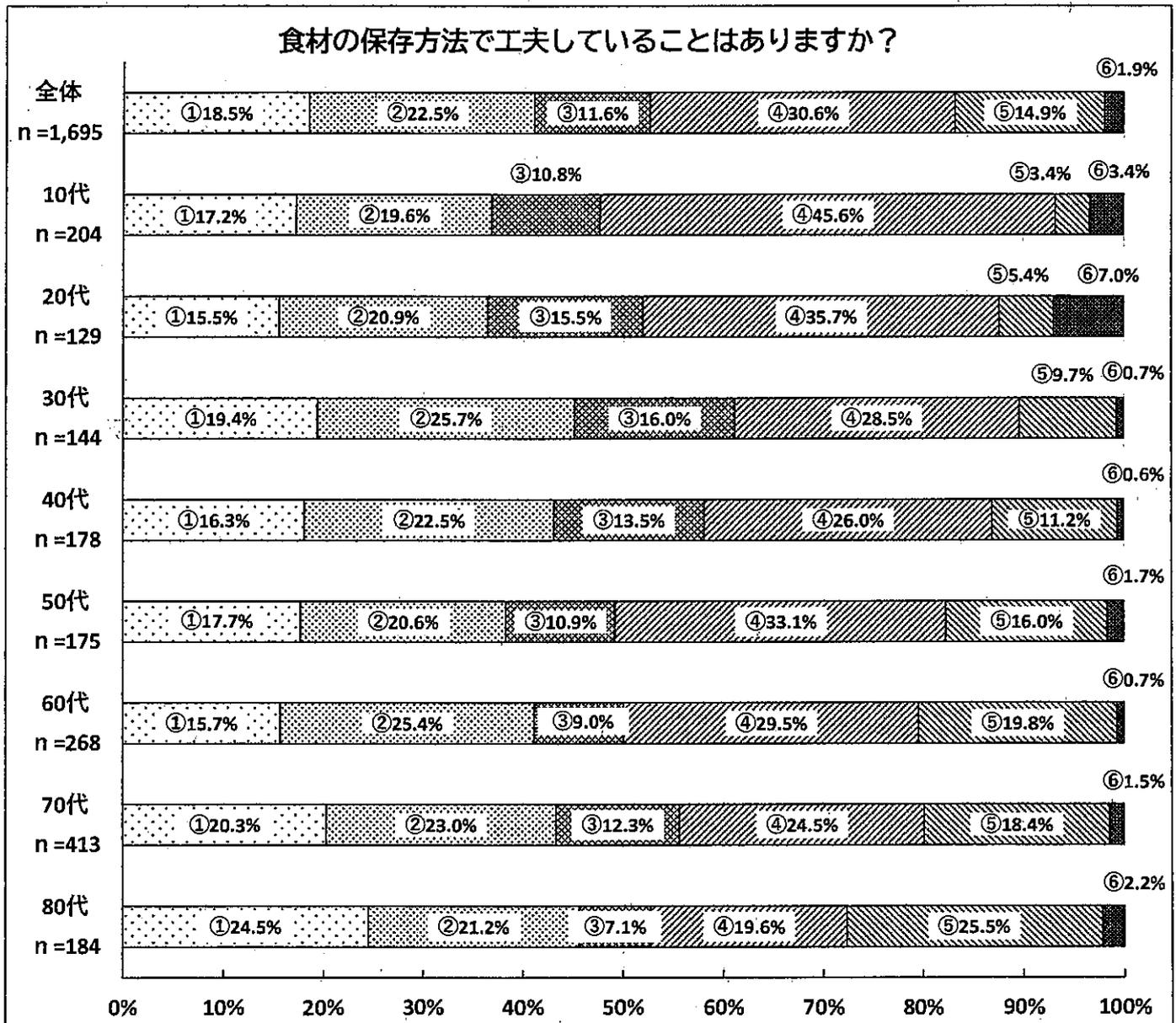
- ① 作りすぎないように工夫している ※選択は2つまで
- ② 在庫一掃の日をつくっている
- ③ 残った料理をリメイクしている
- ④ 捨てがちな野菜の皮、葉、根元など食べられる部分は捨てない
- ⑤ その他



・お料理で工夫していることは、多い順に「①作りすぎないように工夫している」45.7% (729人)、「③残った料理をリメイクしている」22.6% (361人)、「②在庫一掃の日をつくっている」15.0% (239人)、「④捨てがちな野菜の皮、葉、根元など食べられる部分は捨てない」14.0% (224人) です。

## 質問7 「食材の保存方法で工夫していることはありますか？」

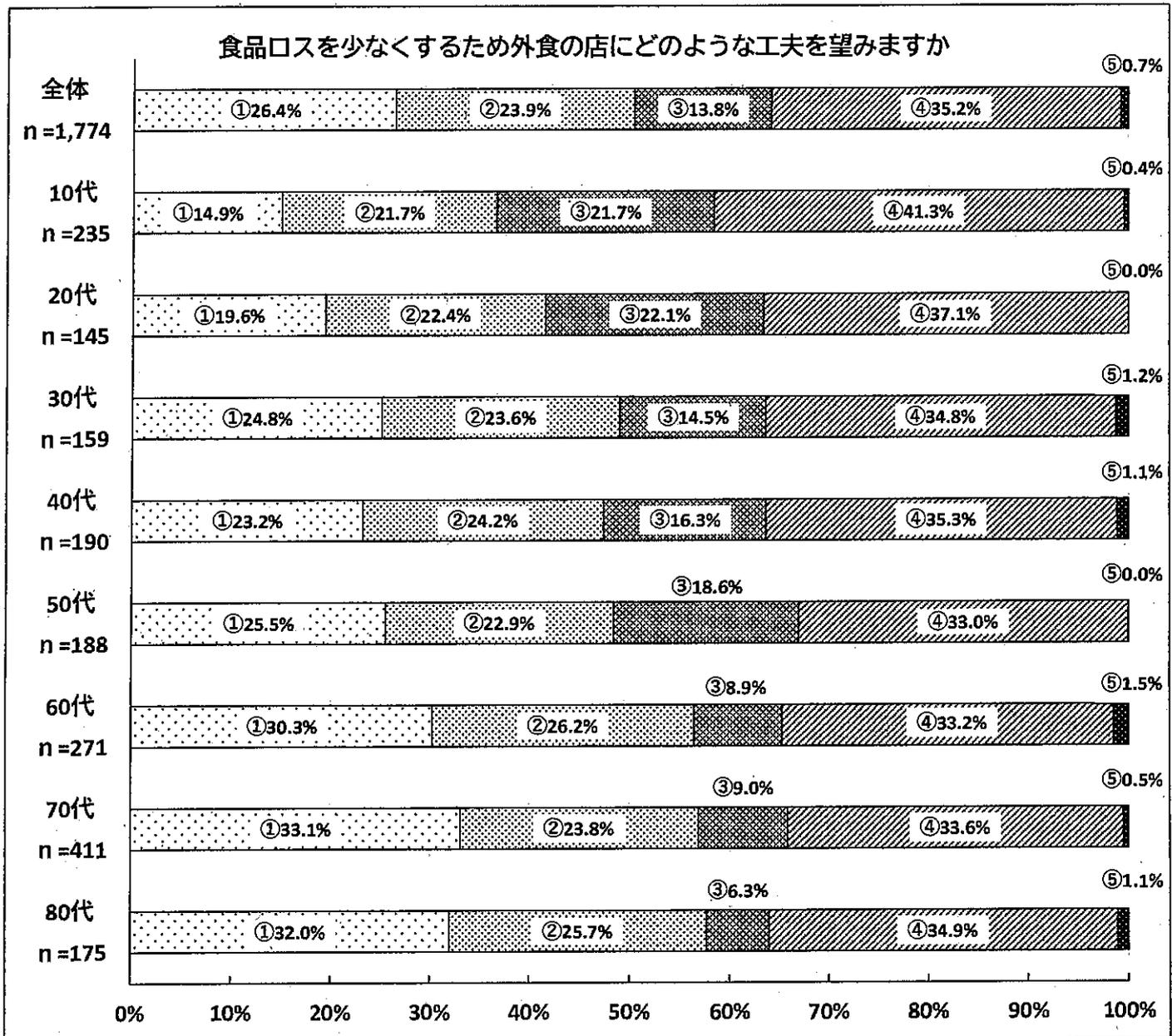
- ① 買った(もらった)すぐに下処理している ※選択は2つまで  
 ② 肉や魚はトレーから出して、使う分ごとに容器に入れて冷凍している  
 ③ きのこと葉物野菜は使いやすい大きさにカットし生のまま冷凍している  
 ④ 賞味・消費期限を管理している  
 ⑤ 野菜は新聞紙にくるみ冷暗所に保管している  
 ⑥ その他



- ・食材の保存方法の工夫では、多い順に「④賞味・消費期限を管理している」30.6% (518人)、「②肉や魚はトレーから出して、使う分ごとに容器に入れて冷凍している」22.5% (382人)、「①買った(もらった)すぐに下処理している」18.5% (314人)、「⑤野菜は新聞紙にくるみ冷暗所に保管している」14.9% (252人)、「③きのこや葉物野菜は使いやすい大きさにカットし生のまま冷凍している」11.6% (196人)です。
- ・10代では、「④賞味・消費期限を管理している」が45.6%、ほかの年代よりも多いのが特徴となっています。

## 質問8 「食品ロスを少なくするため外食の店にどのような工夫を望みますか」

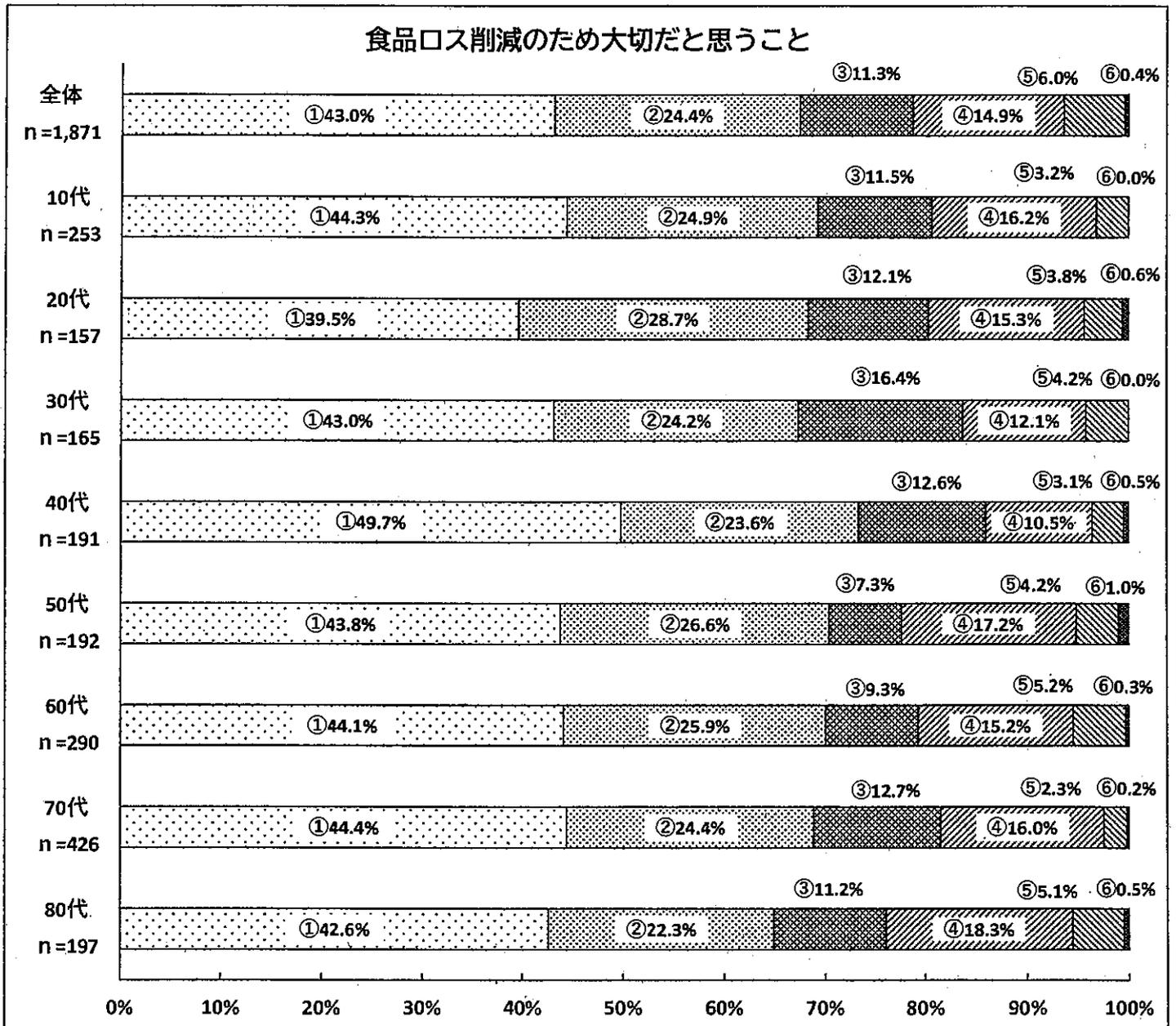
- ① ごはんの量を大中小選べることを提示してほしい ※選択は2つまで  
 ② 小盛り・小分けメニューがほしい  
 ③ 料理の量や写真をメニューに記載してほしい  
 ④ 食べきれない時は持ち帰りができるようにしてほしい  
 ⑤ その他



- ・食品ロスを少なくするため外食店に工夫してほしいことは、多い順に「④食べきれない時は持ち帰りができるようにしてほしい」35.2% (624人)、「①ごはんの量を大中小選べることを提示してほしい」26.4% (469人)、「②小盛り・小分けメニューがほしい」23.9% (424人)、「③料理の量や写真をメニューに記載してほしい」13.8% (244人)です。
- ・特に高齢になるほど①が多くなる傾向があり、10代では④の割合が一番多くなっています。

## 質問9 「食品ロス削減のために大切だと思うこと」

- ①「もったいない」の意識をもつ ※選択は2つまで  
 ② 買い物の仕方を見直し  
 ③ 家族の協力  
 ④ 保管方法の見直し  
 ⑤ エコクッキング  
 ⑥ その他

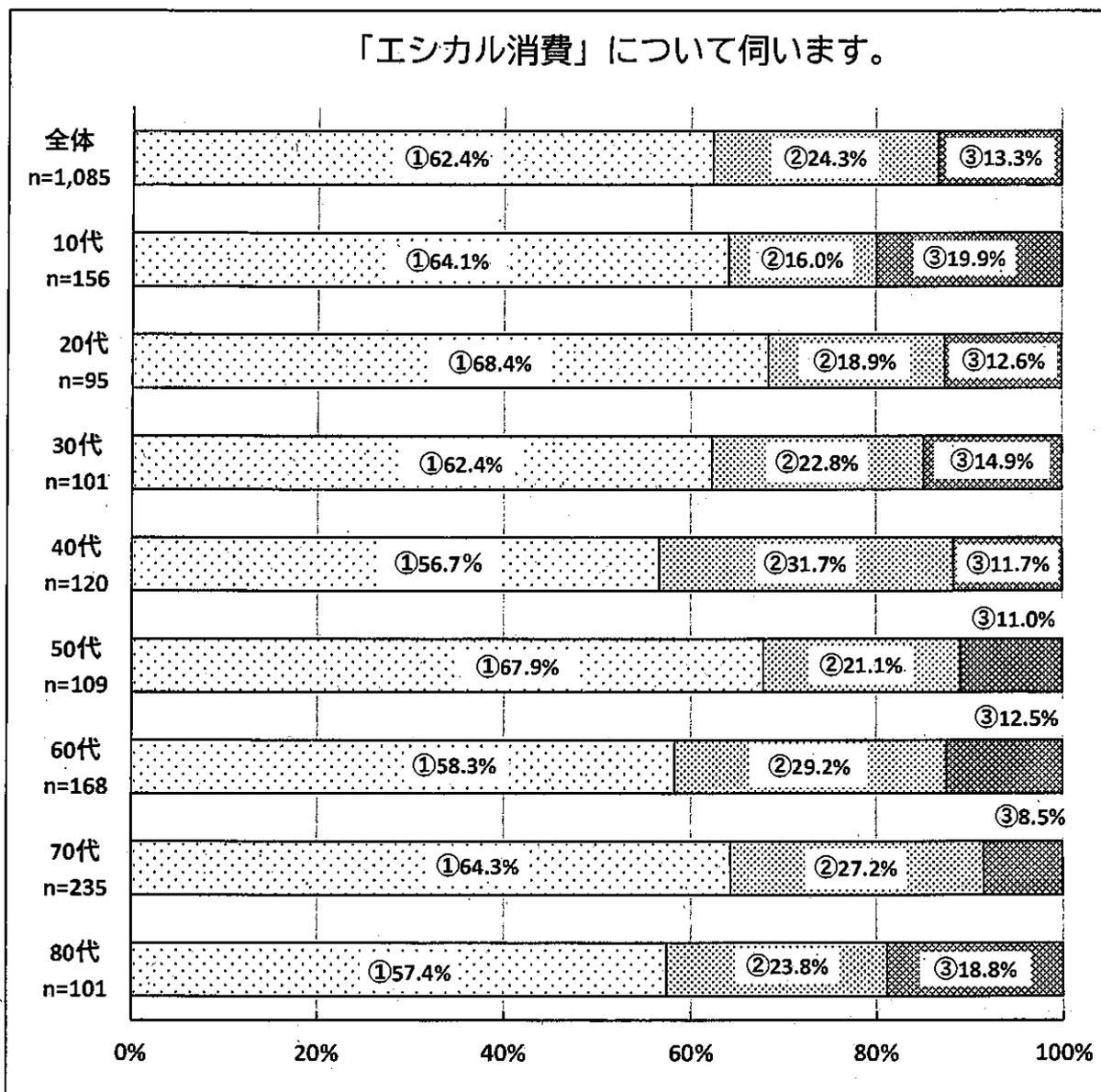


- ・食品ロス削減のために大切だと思うことは、多い順に「①もったいないの意識をもつ」43.0% (825人)、「②買い物の仕方を見直し」24.4% (468人)、「④保管方法の見直し」14.9% (286人)、「③家族の協力」11.3% (216人)、「⑤エコクッキング」6.0% (115人)です。
- ・どの年代も同様の傾向が見られました。

## 質問10 「エシカル消費」について伺います。

以下からひとつを選択

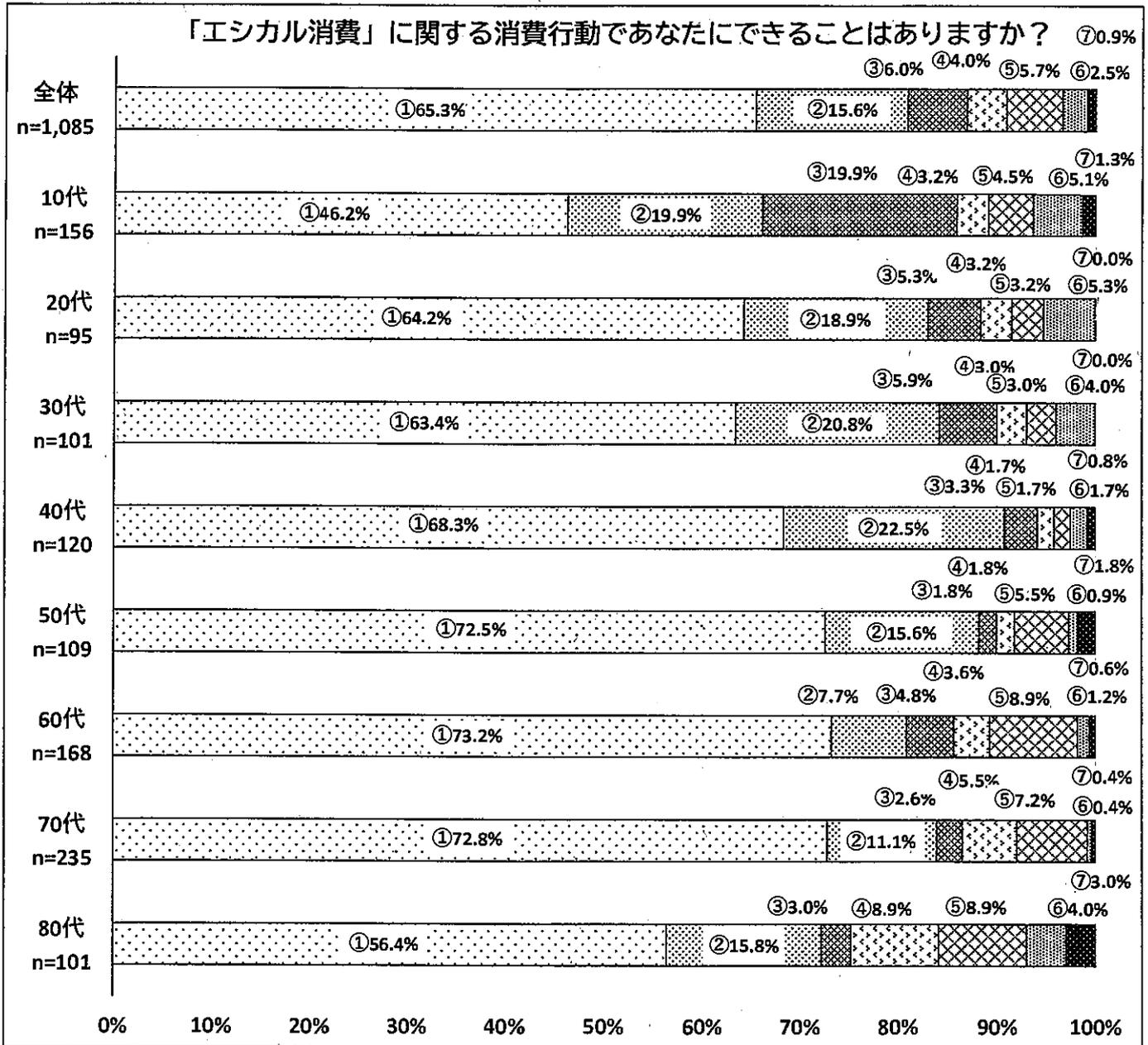
- ① 「エシカル消費」を知らない
- ② 「エシカル消費」の言葉は知っている、内容までは知らない
- ③ 「エシカル消費」の内容まで知っている



- ・ 『エシカル消費』について伺ったところ、③「エシカル消費」の内容まで知っている、と回答したのは13.3%（144人）で、8人に1人しかおりませんでした。
- ・ ①「エシカル消費」を知らないと回答したのは、62.4%（677人）で3人に2人でした。
- ・ ②「エシカル消費」の言葉は知っている、内容までは知らないと回答したのは、24.3%（264人）でした。
- ・ 「エシカル消費」とは、「思いやり消費」のことです。人や社会、環境に配慮した「物」や「サービス」を選んで消費することが大切になります。

質問11 「『エシカル消費』に関する消費行動であなたにできることはありますか？」

- ① 地元の産品を買う ※ひとつに○
- ② 認証ラベルのある商品を選ぶ
- ③ フェアトレード商品を選ぶ
- ④ 福祉作業所などの商品を買う
- ⑤ 被災地の産品を買う
- ⑥ 寄付付き商品を選ぶ
- ⑦ その他

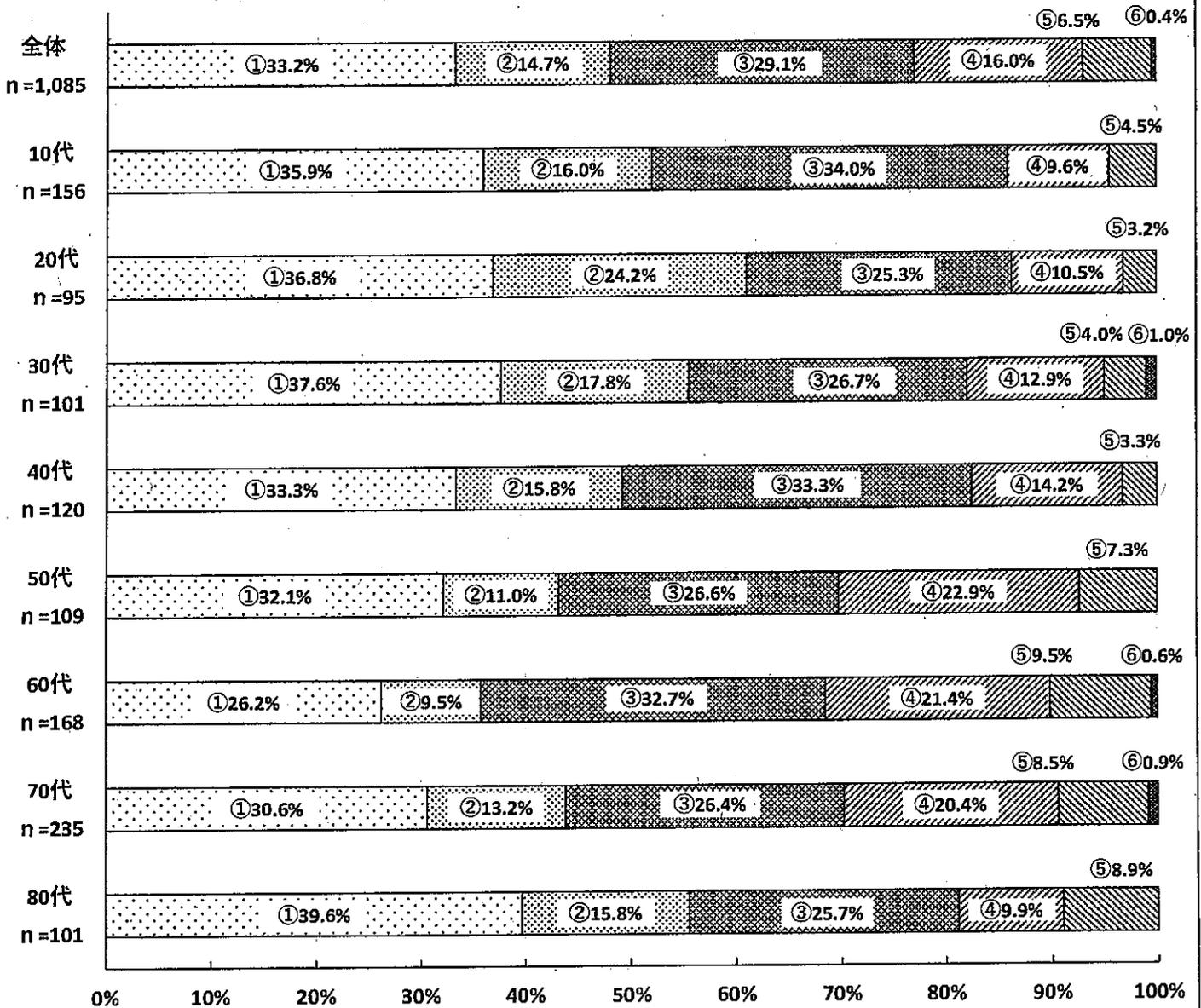


- ・「エシカル消費」に関する消費行動で、一番多かったのは、「①地元の産品を買う」65.3%（709人）と、3人中2人が回答しました。
- ・「①地元の産品を買う」と回答した中で、60代の73.2%（123人）が一番多く、少なかったのは10代46.2%（72人）でした。
- ・次に多かったのは、「②認証ラベルのある商品を選ぶ」で15.6%（169）人でした。
- ・令和元年と令和2年のアンケートでも同じ質問をしました。1位と2位の順位は今年も同じでした。

質問12 「地球温暖化、プラスチックごみ汚染が緊急の課題になっています。私たちの環境を守るため、日常生活で大切なことは何ですか？」

- ① 買い物は、必要なものを、必要な量だけ買う ※ひとつに○  
 ② 使い捨てのものより、長く使えるものを選ぶ  
 ③ マイバック、マイボトルを持参する  
 ④ リデュース、リユース、リサイクルする  
 ⑤ エネルギーを大切に使い、省エネにつとめる  
 ⑥ その他

私たちの環境を守るため、日常生活で大切なことは何ですか？



- ・全体の回答で多かった順に、1位「①買い物は、必要なものを、必要な量だけ買う」が33.2% (360人)、2位「③マイバック、マイボトルを持参する」が29.1% (316人)、3位「④リデュース、リユース、リサイクルする」が16.0% (174人)、4位「②使い捨てのものより、長く使えるものを選ぶ」が14.7% (160人)、5位「⑤エネルギーを大切に使い、省エネにつとめる」で6.5% (71人) でした。
- ・令和元年と令和2年のアンケートでも同じ質問をしました。順位はすべて今年と同じでした。

## アンケート調査を実施して伝えたいこと！

- 1 調査方法は、①アンケート用紙と②Web（Googleフォーム）の両方で実施しました。一般の方には①、大学生にはコロナ禍で大学での授業がオンラインもまだあったため、①あるいは②のどちらかで回答していただきました。
- 2 「食品ロスを知っていますか」の質問では、「食品ロスを聞いたことがある、内容も知っている」が3人に2人でした。一方で、「食品ロスを聞いたことはある、内容はよく知らない」は4人に1人以上いることがわかりました。昨年と順位は同じでしたが、「知らない・聞いたことがない」と回答した方は、3.0%から5.5%と2.5ポイント増加しました。しかし、「食品ロスを聞いたことはある、内容はよく知らない」は28.7%から26.2%と2.5ポイント減少しました。
- 3 食品ロスの半分が家庭から発生していることを知っていたのは3人に2人でした。「知っている」と回答した方は、73.3%で昨年より6.3ポイント増加しました。私たち消費者団体は、食品ロス問題を他人事とせず、自分事と捉えて取り組んで行くことの大切さを伝えたいと思います。
- 4 捨てがちな食品は、野菜や果物、おかず（野菜・肉・魚以外の加工品・中食）が多いことがわかりました。また、捨てるものとして食品に付属している調味料やドレッシングという回答もありました。捨てる理由は傷ませてしまったり、食べきれなかった、賞味・消費期限が切れていたためです。心がけることは、買い物の時に、家にある食材を確認し優先的に使うこと、使いきれ的分だけ買うなどがあります。また、買い物にはメモを持って行くこと、少しずつ余った食材はスープや鍋料理に利用するのもおすすめです。
- 5 お料理で工夫していることは、作りすぎないことであると45.7%が回答しています。これはとても大切なことです。計画的に献立を考え、余った時は冷凍やリメイクしたり、ご近所へおすそ分けするなど食べきることを考えたいものです。
- 6 食材の保存方法で多かったのは、賞味・消費期限を管理していることや、肉や魚は使う分ごとに容器に入れて冷凍していることでした。特に10代では、「賞味・消費期限を管理している」がほかの年代よりも多い（45.6%）のが特徴でした。保存方法でおすすめは冷凍できるものは冷凍保存です。きのこ類は水で洗わず根元を切り落とし、食べやすい大きさにカットして冷凍し、調理する時は冷凍のまま調理します。しょうがやニンニクは使いやすい大きさにカットし冷凍保存すれば、そのまますりおろして使えるので便利です。
- 7 消費者が外食する時、店に工夫してほしいことで最も多かったのは、食べきれない時は持ち帰りができるようにしてほしい（35.2%）でした。消費者が気をつけたいことは、持ち帰るものは帰宅後に加熱が可能なものにする、衛生的な持ち帰り容器を使用する、帰宅まで時間がかかる場合は持ち帰らない、持ち帰った料理は速やかに加熱して食べることなどです。
- 8 外食でも様々な工夫が見られるようになりました。ごはんの量が選べたり、小盛り・小分けメニュー、料理の写真がメニュー表に掲載されていることです。このような取組が多くの人に広がることを望みます。
- 9 食品ロス削減のために、多かったのは「『もったいない』精神をもつ」（43.0%）ことや、買い物の仕方の見直しが大切（24.4%）と回答しています。特に40代では、「『もったいない』精神を持つ」と回答した人がどの年代よりも多く、49.7%でした。
- 10 食品ロス削減は食べ物を大切にすることや、生産者や流通、お店の方などたくさんの方に感謝の気持ちを伝えることにつながると思います。消費者のこのような行動は、SDGsにある17項目の目標12番目「つくる責任、つかう責任」が求めている具体的な行動でもあります。
- 11 令和元年と2年にも「エシカル消費」について同じ質問をしました。「エシカル消費」は分かりやすく言うと「思いやり消費」のことです。人も自然も傷つけず、みんなが笑顔になる買い物をしたいという思いから、人や社会、環境に配慮した「物」や「サービス」を選んで消費することです。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs：エスディーゼズ）」、つまり「世界を変えるための17の目標」の12番目、「つくる責任・つかう責任」で「エシカル消費」が求められています。私たちは「エシカル消費」を心がけ、毎日の買い物を通し、消費行動を変えていかなければならないと思います。また、消費者への啓発が重要と考えます。

# 令和4年度「食品ロス削減に関するアンケート」

福島県消費者団体連絡協議会

《 質問ごとの年代別集計表 》

(人)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
男	384	86	39	49	54	45	55	40	16
女	701	70	56	52	66	64	113	195	85
計	1,085	156	95	101	120	109	168	235	101

## 質問1 「食品ロスを知っていますか？」(1つに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	知らない・聞いたことがない	60	6	2	5	10	1	7	19	10
2	聞いたことはある、内容はよく知らない	284	46	25	28	28	32	45	55	25
3	聞いたことがある、内容も知っている	741	104	68	68	82	76	116	161	66
4	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1,085	156	95	101	120	109	168	235	101

## 質問2 「日本の食品ロスの半分は家庭から発生しています、知っていますか？」(1つに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	知っている	795	100	59	67	84	83	130	186	86
2	知らない	290	56	36	34	36	26	38	49	15
	合計	1,085	156	95	101	120	109	168	235	101

## 質問3 「あなたは、どんな食品を捨てがちですか？」(2つまでに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	主食	133	25	10	10	12	13	24	25	14
2	野菜や果物	404	36	36	35	53	42	67	100	35
3	肉や魚	81	13	11	2	7	11	6	18	13
4	おかず	352	35	14	36	30	36	65	89	47
5	お菓子・飲み物	106	33	12	10	7	8	10	14	12
6	捨てることはほぼない	341	57	37	35	42	33	44	68	25
7	その他	18	0	0	2	3	2	4	5	2
	合計	1,435	199	120	130	154	145	220	319	148

質問4 「捨ててしまう理由は？」(2つまでに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	食べきれなかった	398	66	30	33	35	40	67	83	44
2	傷ませてしまった	584	63	52	50	68	62	103	134	52
3	賞味・消費期限が切れていた	418	74	35	43	35	39	55	90	47
4	嫌いなものだった	75	11	5	3	3	6	11	28	8
5	美味しくなかった	107	16	10	5	10	16	13	28	9
6	その他	107	8	7	12	16	6	17	29	12
	合計	1,689	238	139	146	167	169	266	392	172

質問5 「お買い物で工夫していることはありますか？」(2つまでに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	家にある食材をチェックしてから買い物に行く	520	70	41	46	65	36	82	122	58
2	家にある食材を優先的に使うことを考えている	496	59	36	36	52	62	71	125	55
3	使いきれ的分だけ買うようにしている	387	70	41	41	38	39	58	74	26
4	スーパーなどの棚の前の方から取って買うようにしている	171	28	14	14	18	17	25	37	18
5	献立をたて、足りない食材を買うようにしている	200	23	16	16	13	20	29	56	27
6	その他	35	2	2	2	7	4	7	10	1
	合計	1,809	252	150	155	193	178	272	424	185

質問6 「お料理で工夫していることはありますか？」(2つまでに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	作りすぎないように工夫している	729	93	47	61	80	78	118	179	73
2	在庫一掃の日をつくっている	239	34	25	28	28	25	32	45	22
3	残った料理をリメイクしている	361	38	22	39	51	29	56	88	38
4	捨てがちな野菜の皮、葉、根元など食べられる部分は捨てない	224	20	9	8	15	27	36	71	38
5	その他	43	3	10	5	7	4	3	9	2
	合計	1,596	188	113	141	181	163	245	392	173

質問7 「食材の保存方法で工夫していることはありますか？」(2つまでに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	買った(もらったら)すぐに下処理している	314	35	20	28	29	31	42	84	45
2	肉や魚はトレーから出して、使う分ごとに容器に入れて冷凍している	382	40	27	37	40	36	68	95	39
3	きのこや葉物野菜は使いやすい大きさにカットし生のまま冷凍している	196	22	20	23	24	19	24	51	13
4	賞味・消費期限を管理している	518	93	46	41	64	58	79	101	36
5	野菜は新聞紙にくるみ冷暗所に保管している	252	7	7	14	20	28	53	76	47
6	その他	33	7	9	1	1	3	2	6	4
	合計	1,695	204	129	144	178	175	268	413	184

質問8 「食品ロスを少なくするため外食の店にどのような工夫を望みますか」(2つまでに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	ごはんの量を大中小選べることを提示してほしい	469	35	28	40	44	48	82	136	56
2	小盛り・小分けメニューがほしい	424	51	32	38	46	43	71	98	45
3	料理の量や写真をメニューに記載してほしい	244	51	32	23	31	35	24	37	11
4	食べきれない時は持ち帰りができるようにしてほしい	624	97	53	56	67	62	90	138	61
5	その他	13	1	0	2	2	0	4	2	2
	合計	1,774	235	145	159	190	188	271	411	175

質問9 「食品ロス削減のために大切だと思うこと」(2つまでに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	「もったいない」の意識をもつ	825	112	62	71	95	84	128	189	84
2	買い物の仕方の見直し	467	63	45	40	45	51	75	104	44
3	家族の協力	216	29	19	27	24	14	27	54	22
4	保管方法の見直し	286	41	24	20	20	33	44	68	36
5	エコクッキング	70	8	6	7	6	8	15	10	10
6	その他	7	0	1	0	1	2	1	1	1
	合計	1,871	253	157	165	191	192	290	426	197

質問 10 「『エシカル消費』について伺います。」(1つに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	「エシカル消費」を知らない	677	100	65	63	68	74	98	151	58
2	「エシカル消費」の言葉は知っている、内容までは知らない	264	25	18	23	38	23	49	64	24
3	「エシカル消費」の内容まで知っている	144	31	12	15	14	12	21	20	19
	合計	1,085	156	95	101	120	109	168	235	101

質問 11 「『エシカル消費』に関する消費行動であなたにできることはありますか？」(1つに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	地元の産品を買う	709	72	61	64	82	79	123	171	57
2	認証ラベルのある商品を選ぶ	169	31	18	21	27	17	13	26	16
3	フェアトレード商品を選ぶ	65	31	5	6	4	2	8	6	3
4	福祉作業所などの商品を買う	43	5	3	3	2	2	6	13	9
5	被災地の産品を買う	62	7	3	3	2	6	15	17	9
6	寄付付き商品を選ぶ	27	8	5	4	2	1	2	1	4
7	その他	10	2	0	0	1	2	1	1	3
	合計	1,085	156	95	101	120	109	168	235	101

質問 12 「地球温暖化、プラスチックごみ汚染の問題が緊急の課題になっています。私たちの環境を守るため、日常生活で大切なことは何ですか？」(1つに○)

		合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～
1	買い物は、必要なものを、必要な量だけ買う	360	56	35	38	40	35	44	72	40
2	使い捨てのものより、長く使えるものを選ぶ	160	25	23	18	19	12	16	31	16
3	マイバック、マイボトルを持参する	316	53	24	27	40	29	55	62	26
4	リデュース、リユース、リサイクルする	174	15	10	13	17	25	36	48	10
5	エネルギーを大切に使い、省エネにつとめる	71	7	3	4	4	8	16	20	9
6	その他	4	0	0	1	0	0	1	2	0
	合計	1,085	156	95	101	120	109	168	235	101

# 令和4年度 「食品ロス削減に関するアンケート」

福島県消費者団体連絡協議会

食品ロス削減への取り組みが消費者に求められています、アンケートへのご協力よろしくお願いします。

市町村名		性別	( ) 男性、( ) 女性					
年代に〇	・10代	・20代	・30代	・40代	・50代	・60代	・70代	・80代以上

質問1 「食品ロスを知っていますか？」 (ひとつに〇)

- 1 ( ) 知らない・聞いたことがない
- 2 ( ) 聞いたことはある、内容はよく知らない
- 3 ( ) 聞いたことがある、内容も知っている
- 4 ( ) その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

質問2 「日本の食品ロスの半分は家庭から発生しています、知っていますか？」(ひとつに〇)

- 1 ( ) 知っている
- 2 ( ) 知らない

質問3 「あなたは、どんな食品を捨てがちですか？」 (2つまでに〇)

- 1 ( ) 主食(ごはん、パン、麺類)
- 2 ( ) 野菜や果物
- 3 ( ) 肉や魚
- 4 ( ) おかず(野菜・肉・魚以外の加工品・中食など)
- 5 ( ) お菓子・飲み物
- 6 ( ) 捨てることはほぼない
- 7 ( ) その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

質問4 「捨ててしまう理由は？」 (2つまでに〇)

- 1 ( ) 食べきれなかった
- 2 ( ) 傷ませてしまった
- 3 ( ) 賞味・消費期限が切れていた
- 4 ( ) 嫌いなものだった
- 5 ( ) 美味しくなかった
- 6 ( ) その他(理由: \_\_\_\_\_)

質問5 「お買い物で工夫していることはありますか？」 (2つまでに〇)

- 1 ( ) 家にある食材をチェックしてから買い物に行く
- 2 ( ) 家にある食材を優先的に使うことを考えている
- 3 ( ) 使いきれ的分だけ買うようにしている
- 4 ( ) スーパーなどの棚の前の方から取って買うようにしている
- 5 ( ) 献立をたて、足りない食材を買うようにしている
- 6 ( ) その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

質問6 「お料理で工夫していることはありますか？」 (2つまでに〇)

- 1 ( ) 作りすぎないように工夫している
- 2 ( ) 在庫一掃の日をつくっている
- 3 ( ) 残った料理をリメイクしている
- 4 ( ) 捨てがちな野菜の皮、葉、根元など食べられる部分は捨てない
- 5 ( ) その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

【うらへ続きます】 【19】



質問 7 「食材の保存方法で工夫していることはありますか？」（2つまでに〇）

- 1 ( ) 買った（もらったら）すぐに下処理している
- 2 ( ) 肉や魚はトレーから出して、使う分ごとに容器に入れて冷凍している
- 3 ( ) きのこと葉物野菜は使いやすい大きさにカットし生のまま冷凍している
- 4 ( ) 賞味・消費期限を管理している
- 5 ( ) 野菜は新聞紙にくるみ冷暗所に保管している
- 6 ( ) その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

質問 8 「食品ロスを少なくするため外食の店にどのような工夫を望みますか」（2つまでに〇）

- 1 ( ) ごはんの量を大中小選べることを提示してほしい
- 2 ( ) 小盛り・小分けメニューがほしい
- 3 ( ) 料理の量や写真をメニューに記載してほしい
- 4 ( ) 食べきれない時は持ち帰りができるようにしてほしい
- 5 ( ) その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

質問 9 「食品ロス削減のために大切なと思うこと」（2つまでに〇）

- 1 ( ) 「もったいない」の意識をもつ
- 2 ( ) 買い物の仕方の見直し
- 3 ( ) 家族の協力
- 4 ( ) 保管方法の見直し
- 5 ( ) エコクッキング
- 6 ( ) その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

質問 10 福島県消費者団体連絡協議会では『エシカル消費で社会を変えよう！』をテーマに活動しています。「エシカル消費」について伺います。（ひとつに〇）

- 1 ( ) 「エシカル消費」を知らない
- 2 ( ) 「エシカル消費」という言葉は知っているが、内容までは知らない
- 3 ( ) 「エシカル消費」の内容まで知っている

質問 11 「エシカル消費」に関する消費行動として次のようなことがありますか、あなたにできることはありますか？」（ひとつに〇）

- 1 ( ) 地元の産品を買う（地産地消によって地域活性化や輸送エネルギーを削減）
- 2 ( ) エコマークなど認証ラベルのある商品を選ぶ
- 3 ( ) フェアトレード商品を選ぶ（発展途上国の原料や製品を適正な価格で取引された商品）
- 4 ( ) 福祉作業所などの製品を買う（障がいがある人の支援につながる商品を選ぶ）
- 5 ( ) 被災地の産品を買う（被災地の特産品を消費することで経済復興を応援）
- 6 ( ) 寄付付き商品を選ぶ（売り上げの一部を環境保全やボランティアに寄付する商品）
- 7 ( ) その他（具体的には、 \_\_\_\_\_ )

質問 12 「地球温暖化、プラスチックごみ汚染の問題が緊急の課題になっています。私たちの環境を守るため、日常生活で大切なことは何ですか？」（ひとつに〇）

- 1 ( ) 買い物は、必要なものを、必要な量だけ買う
- 2 ( ) 使い捨てのものより、長く使えるものを選ぶ
- 3 ( ) マイバック、マイボトルを持参する
- 4 ( ) リデュース（ごみを減らす）、リユース（くり返し使う）、リサイクル（再利用）する
- 5 ( ) エネルギー（例：電気、ガス、ガソリン等）を大切に使い、省エネにつとめる
- 6 ( ) その他（ \_\_\_\_\_ )

ご協力ありがとうございました。（福島県消費者団体連絡協議会）

【20】

令和4年度 福島県消費者団体連絡協議会の主な活動

	内 容	備 考
4月21日(木)	総会 研修会「未来のためのエシカルコンシューマー（倫理的消費者）になるために」 講師：公益社団法人NACS 講師 古谷由紀子 様	県消費生活課研修室
6月30日(木)	第1回理事会	アンケートとエコチャレンジ 団体へ配布
7月～8月	アンケート1,200枚配布	有効回答数1,085枚
7月21日(木) ～22日(金)	一泊研修会 研修テーマ「館長の考える演劇芸術文化」講師：白河文化交流館コミネス 館長 宮田慶子 様	公共の宿 きつねうち温泉 昼食（新駒） 見学：小峰城（二の丸茶屋、 歴史民俗資料館）、だるまランド、まほろん
8月	エコチャレンジに挑戦	27世帯、72人参加
10月26日(水)	食品ロス削減講座 講師：料理研究家 行長万里 様	県消費生活課研修室 （自治会館1階）
10月13日(木) ～15日(土)	「LEAF ふくしま 2022&ふくしまゼロカーボンDAY2022」に出展 ・県消団連のテーマはエシカル消費や食品ロス削減。アンケート調査実施。	ビックパレットふくしま
10月20日(木) ～26日(水) 11月8日(火) ～12日(土)	文化祭に出展 飯舘くらしの会 川俣町消費生活研究会	ふれ愛館 川俣町中央公民館
11月11日(金)	JA 福島女性部協議会との交流会 （JA 福島 70周年記念大会に参加）	パルセいいざか
11月14日(月)	出前講座 ① 食品ロスについて	会津若松消費生活研究会 会津迎賓館
12月8日(木)	第2回理事会	県消費生活課研修室
1月25日(水)	福島県電機商工組合 「消費者懇談会」	郡山商工会議所
2月14日(火)	アンケート調査結果 報告会	県消費生活課
2月14日(火)	みどりの食料システム戦略に関する 消費者団体等との意見交換会	東北農政局福島拠点
3月10日(金)	第3回理事会	県消費生活課研修室

